

項目	内容
名称	アマドコロ、ギョクチク、イズイ、ソロモンズシール [英]aromatic Solomon's seal、dwarf Solomo's seal、fragrant Solomo's seal [学名]Polygonatum odoratum (Mill.) Druce var. pluriflorum (Miq.) Ohwi、Polygonatum odoratum (MILL.) DRUCE (=P. officinale ALL.)
概要	<p>アマドコロ (P.odoratum var. pluriflorum) は、中国、朝鮮半島、日本の山地または原野に育成する多年草で、観賞用や薬用として栽培されることもある。長く伸びた地下茎の先端から1年ごとに1本の茎を出し、4~5月に緑白色の花が咲く。春先に出てくる若芽のほか、乾燥させた根から煮だしたお茶が食用として利用される。中国では、P.odoratum (Mill.) Druceの根茎をギョクチク (玉竹) またはイズイとよび、漢方として使用する。ただし、中国産 (P.odoratum (Mill.) Druce) と日本産 (P.odoratum var. pluriflorum) では原植物が異なるとの情報もある。また、ヨーロッパや北アメリカ、アジアの温帯地域原産のソロモンズシール (P.multiflorum) もアマドコロとして紹介されていることがあり、逆にP.odoratum (Mill.) Druceをソロモンズシールとする情報もある。さらに、ソロモンズシールの学名はP.biflorum (Walter) Elliottであるとするものもあり、アマドコロとソロモンズシールの区別や、該当植物については明確な整理がなされていない。</p>
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> 根茎：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。



成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・ P.officinaleの葉にはアゼチジン-カルボン酸を含む (18) (29)。 ・ P.odoratum var. pluriflorumの根茎にはodoratanおよびpolygonatum-fructans O-A (fructose:glucose=29:1) ,O-B (26:1) ,O-C (18:1) ,O-D (10:1) を含む (18)。 ・ P.odoratum (Mill.) Druceはベタイン、クマリン、ヘスペリジン、ケンフェロールを含む (PMID:15162365)。
分析法	-
有効性	
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
ヒトの生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
ヒトの脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
ヒトの免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(18) 和漢薬百科図鑑 I /II 保育社 難波 恒雄 著 (29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館 (102) 上海予防医学雑誌. 1999;11(9):413. 【中文】 (PMID:15162365) Phytother Res. 2004 Apr;18(4):301-5. (PMID:12450112) Biosci Biotechnol Biochem. 2002 Oct;66(10):2036-43. (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS).